

# 會 か ら

○秋もいよ／＼熟して來ました。天は高くなつて來ました。

空は晴れて來ました。野はみのつて來ました。山に紅に映えて來ました。子どもたちは肥えて來ました。あそびの弾力が強くなつて來ました。

○保育要領では『見學』となつていますが、幼稚園の門から外へ出かけてゆくという點では、前からいわれている『園外保育』というのが、あたつていましょう。たゞ、園の外というだけで少々内容がないかも知れません。殊に、動きがありませんね。ドイツの幼稚園ではスパチールガングといつています。字引流に散歩と譯すと散の字が氣になります。ぶら／＼歩きと來てはなお困りますが、ドイツ語のまゝで發音すると、スパツチールガングで音調が緊張して來ます。見學もアメリカ流のエキスカーションという、外へ出かけるという感じがです。見學も必要なことですが、外へ出れば、よつぽどぼんやりしてない限り、見學になるのですが、學と受けとる方より、出かけてゆくという方に、楽しみがあまりましようね。殊に、このいゝ秋の午後には。

○秋のいゝのは、子どもたちにばかりではありません。先生方にとつても、毎日が何んとなく張りきつて、われながら(?)いゝ保育がでまじよう。あき(倦き)がきたなんていうような顔や、仕事にあき(空き)だらけの手も、いゝ秋はきつそうたらしめますね。服装だつて眞夏の薄物のようにペラ／＼せず、寒中の厚物のようにぼた／＼せず、すらしやつきりと、あなたによくお似合になりますよ。

○秋の快きに、いつもの此欄らしくないことばかり申しましたが、本誌の平井信義氏の『二通の手紙』も、松村康平氏の『幼児研究の進め方』も秋の保育者に對しての、いゝおたよりです。みんなで、いゝ秋を眞にいゝ秋にするように心を入れて讀みまじよう。

## 『幼児の教育』編集

編集主任 倉橋惣三  
協力委員 牛島義友 及川ふみ 齋藤文雄 多田鐵雄 波多野完治 山下俊郎

編纂委員 西山浪太郎  
日本幼稚園協會

## 幼児の教育 第四六巻 第十號

定價 金參拾圓也

昭和二十四年十月十五日印刷

昭和二十四年十月二十日發行

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

編集者 倉橋惣三  
發行者

東京都千代田區神田神保町二ノ四

印刷者 佐野眞一

東京都千代田區神田神保町三ノ二九

印刷所 明和印刷株式會社

東京都文京區大塚町三十五

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

東京都千代田區神田神保町二ノ四

發賣所 株式會社 フレーベル館

電話九段(33)三九七一番

振替東京一九六四〇番

○本誌御購讀について注文申込その他は凡べて發賣所フレイベル館宛に願います